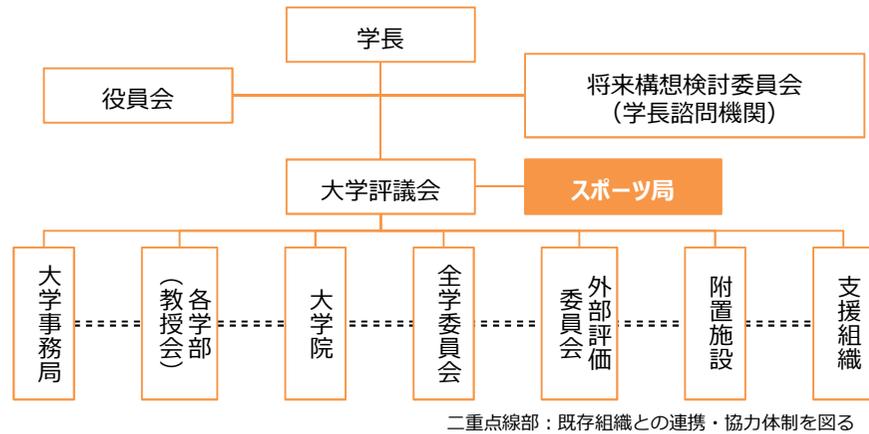


大学スポーツ振興の推進（大阪体育大学の取組）

スポーツ分野の統括業務の実施

運動クラブの統括管理と大学のブランディングといった「アスレチックデパートメント」が期待される業務を包含し、学内の経営資源（教職員、学生、教育・研究、施設、地域交流・社会貢献、広報・PRなど）の活用といった従来業務や部局の機能を横断統合、さらなる連携を担う「スポーツ局」の開設を2018年4月に予定している。なお、現在は下図の「将来構想検討委員会」に「スポーツ局準備委員会」を設置して開局準備をしている。



大学スポーツアドミニストレータの配置

「スポーツアドミニストレーター」は、以下の3分野での専門的な人材の配置を想定している。

- ハイパフォーマンス及びアスリート・クラブサポート分野
学生アスリート、指導者、スタッフ等の支援を、スポーツ科学の知見を活用し、全学的な体制や環境を整備しながら推進できる者。
- スポーツプロモーション分野
スポーツにおける地域振興や社会貢献、スポーツ科学研究の事業化を図り、それらのPR・周知の企画・推進ができる者。
- スポーツ事業管理分野
教育・研究・スポーツ事業の連携した事業管理体制を整備、統括・横断的な管理業務の推進ができる者



※Daitaidai Athlete Support & High Performanceプロジェクト：トップアスリートとその指導者の育成・サポートシステムの略称。

大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案

体育専門大学として培われた教育メソッド、研究成果、人材、先進的な施設等を有効活用し、多くの地方自治体の課題となっている「少子高齢化による、まちの活力の低下」の解決につながる実践的なプログラムの企画と立案。スポーツが持つ力でまちを活性化させ、ビジネスや雇用創出までを展望する“スポーツによる活力ある地域づくり”を実践できる事業モデルの検証に取り組む。

子どもたちを対象とするジュニアスポーツの振興モデルの検討

- ジュニア競技者の育成とスポーツ科学サポートの充実
- 連携校である浪商中・高でのアスリートの発掘・育成
- 周辺地域自治体への指導者・スタッフの派遣

スポーツ愛好家を対象とするシニアスポーツ振興モデルの検証

- シニア層のスポーツ愛好家のためのプログラム開発・健康増進研究の実施、シニアアスリートへの科学的・実践的支援

社会貢献型ビジネスの展開による収益事業モデルの検証

- 競技団体や地方自治体事業との連携（タレント発掘や育成・強化支援、体験会の開催など）
- 地方自治体とのスポーツ振興事業の企画・開発

誰もが楽しめるスポーツ環境整備のためのアダプテッドスポーツの振興事業モデルの検討

- アダプテッドスポーツ実施者の外傷・障害研究、特別支援学校生徒へのスポーツ実践の機会提供
- 装具などの技術・安全性向上のための用具開発

中高齢者を対象とする健康寿命の延伸に係る事業モデルの検証

- 健康プログラムの実施、介護予防事業の展開と、それらを通じた周辺自治体との健康増進研究の実施

大学間連携の推進

- 「大学スポーツ振興関西地区検討会」や同検討会で設立予定の「大学スポーツ推進コンソーシアムin Kansai（仮称）」での共有・連携

